



薬学部
同窓会会長
桂 正俊

薬学部

薬学部同窓会は全国17支部(道内7、道外10)で活動を行っております。近年は会員数の増加に伴い、道内支部の細分化の動きが出ています。また、道外では逆に卒業生が減少していることから、本州支部の統合やブロック化も含めて考えていかなければなりません。各支部活動としては、多くの支部では、医療薬学セミナーと同時に支部総会や懇親会を開催し、その地域での薬業や医療に関する情報交換を行っているところであります。最近では歯学部や他学部の同窓会とも連携したセミナーの開催が行われている支部もあり、学部の枠を越えた活動が始まっております。同窓会の活動はどのように会員同士の交流を深めながら、それぞれの仕事やモチベーションを高めることをひとつの目標としておりますので、全国の同窓生が一様に参画できる支部役員

〈創立年:1979年 会員数:約5,612名〉

協力を得ながら活性化を図ってまいりたいと考えております。また、在学生も同窓会準会員としておりますので、入学時に行われる新入生宿泊オリエンテーションにも同窓会として参加し、卒業生の講演や新入生の交流が深まるようゲーム大会等を開催しています。さらに、卒業生の生涯教育として、医療薬学セミナーや将来ビジョン講座など卒業研修を企画するとともに「在校生と卒業生の合同懇談会」を開催しており、我々同窓会としても、入学時から学生に対しての支援活動を通して、大学に寄与できるよう努力してまいりたいと考えております。

■ <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~phalumni/>



歯学部
同窓会会長
養輪 隆宏

歯学部

政府は、2017年6月9日(金)に経済財政運営と改革の基本方針2017を閣議決定しました。その中に社会保障分野の健康増進・予防の推進等として「口腔の健康は全身に健康につながるから、生涯を通じた歯科検診の充実、入院患者や要介護者に対する口腔機能管理の推進など歯科保健医療の充実に取り組む。」との文言を入れました。いわゆる国の骨太の方針に具体的ななかたちで歯科関係の言葉が載ったことは初めてで、とても画期的なことです。政府がいかに口腔の健康を重視し出したかがよく分かる結果です。歯・口が健康な人ほど医療費が少ない、との報告があることから、歯科医療が毎年増え続ける医療費の削減に寄与できれば幸いです。

一方では、お口の機能維持と歯及びそれを支える歯周組織の予防処置を大切にしたいとの思いから、定期的に通院される方々が年々増えております。「国民の口腔への意識が高まっている」と、日々医療現場の活動を通して実感しております。ところが、後継者不在な

〈創立年:1984年 会員数:約3,078名〉

どが理由で止むを得ず歯科医院を閉院するケースも散見され始め、地域の大切な社会資源が失われていくことを危惧しています。国民の健康を保持すること、歯科医療の衰退を防ぐためにも、我々同窓会は次世代を担う学生を応援しております。新入生オリエンテーションの協力、OBによる応援講義、学外臨床実習生の受入れ、海外短期臨床実習の補助、国家試験対策の支援、謝恩会の協力、同窓会賞の授与などがそれにあたりますが、今後、学生の皆様はじめ学部のご期待に応えるよう更にその活動を強めていきたいと思っております。

■ <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~d.alumni/dousoukai@clock.ocn.ne.jp>
■ 事務局 札幌市北区北6条西6丁目2-11 第3山崎ビル4F
TEL 011-299-9069 FAX 011-299-9609



看護学部
同窓会会長
川村 武昭

看護福祉学部／看護学科・札幌医療福祉専門学校／看護学科

福慧会(看護学科同窓会)は活動20周年を迎え、2017年7月17日(月)には中島紀恵子初代学部長をお招きして記念講演会・祝賀会を開催し、皆さまのおかげをもちまして盛況のうちに終えることができました。日頃からご尽力をいただいております同窓生の皆さまをはじめ、各同窓会の皆さま、そして大学関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。

さて、福慧会の主な活動内容としては、臨床福祉学科との協働で取り組む看護福祉学部同窓会セミナーと看護福祉学部学会の企画及び運営を軸に、4学部及び専門学校とともに協働で開催している同窓会コラボ☆講演会があります。また、これらの活動状況や各地で活躍する同窓生の近況報告等を同窓生の皆さんにお伝えする会報誌(Fukueikai)の発行やホームページの運営、そして同窓生同士の繋がりを保つものとして会員名簿の管理を行っております。また、同窓会活動について検討するために13名の同窓生で構成される同窓会理事会を定期的に開催しております。

現在、会員数が2,000名を超え、他学部の同窓会との連携した活動の増加に伴い、改

〈創立年:1997年 会員数:約2,000名〉

めて同窓会とは何か、誰のために何をめざす活動なのか、そして、活動に携わる私たち自身の存在意義とは何かを考えさせられます。仕事や家庭を持ちながら、家族や友人との繋がりを手放さず、年齢とともに担う役割が増えるなかで、たくさんの「ながら」を両手いっぱい抱えてもなお私たち同窓会役員が時間の合間を縫って集まり、真剣に意見を言い合う中に、その答えがあるようにいつも感じています。

これからも同窓生の繋がりが途切れないうち同窓会セミナーや各種講演会の開催、クラス会の開催の助成等とおして、同窓生が安心して集い、語り合える機会を増やしていきたいと考えております。これからも会報誌やホームページを通じて活動状況をお伝えし参りますので時々目をとっていただけると幸いです。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

■ <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~kango/>
■ kango@hoku-iryo-u.ac.jp



臨床福祉学科
同窓会会長
小畑 友希

看護福祉学部／臨床福祉学科・札幌医療福祉専門学校／介護福祉学科

福祉・介護同窓会の活動状況としては、定期総会を5月27日(土)の看護福祉学部同窓会セミナー終了後に開催しました。セミナーIは、「現代の貧困問題～子どもから高齢者～」と題し、臨床福祉学科の友藤芳恵教授に講演いただきました。続いて、シンポジストに吉見香先生(札幌乳児院児童家庭センター長)と、医療大卒業生の飯沼舞先生(足寄町役場・地域包括センター担当主査)に登壇いただきました。9月16日(土)の同窓会セミナーII(看護福祉学部学会共催)については、運営協力をしており、例年3月に開催している同窓会コラボ☆講演会も共催しています。今年度は初の企画として、地方同窓会懇親会を11月4日(土)に函館市で開催しました。臨床福祉学科の志水幸学科長、佐藤園美准教授と、卒業生は、若手から福祉介護系事業所の経営者となっているベテランの参加もあり、福祉・介護同窓会の層の厚さを改めて感じることができました。昨年度から換

〈創立年:2000年 会員数:約2,100名〉

討をはじめている同窓会各支部発足については、2018年度の研修会開催に向けて準備をしているところです。同窓会ホームページも随時更新しておりますので、詳細が決まりましたらご案内予定です。ホームページでは「リレーエッセイ」のコーナーで懐かしいあの人のエッセイも掲載しておりますのでぜひご覧ください。

福祉・介護同窓会は2020年には設立20周年を迎えます。福祉15期卒業の新役員が加わり現在9名体制となっております。役員会では、20周年の企画についても話し合いを始まりました。同窓生同士のネットワークの強化も今後の課題です。今後とも関係者の皆様には、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

■ fukudo@hoku-iryo-u.ac.jp



臨床心理学科
同窓会会長
上河邊 力

心理科学部／臨床心理学科

当同窓会では例年、同窓会セミナーの開催や会報誌の発行を行ってまいりました。そのうち中心的な活動は同窓会セミナーの開催となり、本年度も2回を盛況のうちに終えることができました。第1回は、自分の気持ちやどのように伝えるか、相手の気持ちをどのように受け取るかといった技術を、ワークを通して磨くことができました。第2回には、心理的要因や発達の要因をバックグラウンドに持つ犯罪者に対して、再犯予防の観点からどのような支援が必要とされるのかについて学ぶことができました。同窓会が企画するセミナーではありますが、臨床心理士として活躍中の専門家の皆様のみならず、一般の方々にも興味を持っていただけるようなテーマになるように工夫をしております。そのかいあってか毎回一般の方々の参加者も少なくなく、大変ご好評をいただいております。また、最近の傾向とい

〈創立年:2006年 会員数:約491名〉

ましては、在学生の参加が多いのも特徴となっております。在学中から学びの機会を広げようとする姿勢を見せてくれる学生の皆さんを見ると、大変喜ばしい気持ちになります。同時に、そうした意欲に応えるべく身の引き締まる思いでもあります。現在、進学や就職を目指す学生と現場に身を置く卒業生との繋がりを生み出しやすくするシステムを検討中ですので、今後の動向にご期待ください。

これからも同窓会は、時代や環境の変化に合わせた同窓会運営を行って参る所存ですので、変わらぬご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

■ <http://www.hoku-iryo-u.ac.jp/~p.dousou/> ■ shinri-dousoukai@hotmail.co.jp



理学療法学科
同窓会会長
武田 智洋

リハビリテーション科学部／理学療法学科

2013年に開設された理学療法学科は、2017年春に第1期生が卒業しました。卒業生全員が国家試験に無事合格し、全国各地の医療機関や福祉施設において、それぞれが「理学療法士」として奮闘しているところです。第1期生の卒業に伴い、当学科においても同窓会を設立することとなりました。設立にあたっては泉唯史学部長、同窓会顧問を引き受けていただいた高橋尚明教授、そして、設立から運営にわたって指導いただいているあいの里ST会の先生方からは多大なご支援とご協力をいただきました。あらためて御礼申し上げます。

本会は発足から早1年が経とうとしていますが、組織運営に関しては初心者ばかりであり、まだまだ学ぶべきことが多くあります。そのような中でも、今年は事業の企画、実行など具体的な活動に対しても積極的に取り組んでいきたいと考えております。現在、第2期生

〈創立年:2017年 会員数:約71名〉

の加入を心待ちにしているのとともに、卒業教育の一環として当学科教授を招いての第1回同窓会セミナーを企画しているところです。知識・経験量が豊富な先生による講演、学生時代お世話になっていた先生にだからこそできる質問や相談など、活発なディスカッションを通して同窓生が更に成長できるような場を作りたいと考えております。また、昨年同様に総会や理事会の開催、会報作成、ホームページ管理なども引き続き行います。

今後後援会の皆様をはじめ、各同窓会の先生方に教授いただきながら、本学の発展、同窓生の更なる活躍の一助となるべく活動をしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

■ <http://iryoudaibt.web.fc2.com/> ■ iryoudaibt@gmail.com



作業療法学科
同窓会会長
田丸 仁啓

リハビリテーション科学部／作業療法学科

2017年3月に私たち第1期生40名が卒業し、同年6月24日(土)作業療法学科同窓会の設立総会を開催させていただきました。総会では、同窓会会則、2017年度活動計画、予算案、役員選出について承認いただき、無事に設立することができました。設立に際しましては、あいの里ST会の皆様には多大なるご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今年度は、発足に向けての活動が中心となりましたが2017年12月に会報を発行しました。会員の皆様には会報にて当会設立の報告をさせていただき、活動計画、予算案等の情報提供を行いました。来年度は設立2年目ということで、未だに至らない点が多々あるこ

(創立年:2017年 会員数:約40名)

とと思いますが、ご支援いただいております先生方、同窓会員の皆様にもご協力をいただきながら、来年度は同窓会セミナーの開催も検討していきたいと思っております。まだまだ会員数も少ない月日が続きますが、卒業生、在校生、在学教員の繋がる場として作業療法学科同窓会が存在し続け、発展していく事ができるよう役員一同努力して参ります。

最後に後援会の皆様、各同窓会役員の皆様ご理解・ご協力の下に、当会の設立・運営が成り立っておりますことに深く御礼申し上げます。

■ hokuriyodai.ot@gmail.com



言語聴覚療法学科
同窓会会長
石黒 恵美子

心理科学部／言語聴覚療法学科・ 札幌医療福祉専門学校／言語聴覚療法学科・言語聴覚療法専攻学科

当会は、講演会の企画・運営、年に2回の会報の発行を通した現役生・卒業生の皆様への情報提供を中心に活動しております。今年度は、2017年6月24日(土)に同窓会セミナーを開催しました。本学卒業生の三上愛さんを講師に迎え、小児の姿勢・発達をテーマに講演していただきました。また、同日に同窓会総会を実施、前年度の活動報告と決算報告、今年度の活動予定・予算・役員の変更について承認がなされました。

現在は、2018年3月10日(土)開催予定の第11弾コラボ☆講演会、同年6月30日

(創立年:1994年 会員数:約1,100名)

(土)開催予定の同窓会セミナーに向けて準備を進めております。ぜひ、多くの皆様にご参加いただきたいと存じます。

最後に、後援会の皆様・大学内外の先生方のご理解・ご協力を賜り、滞りなく当会の運営を行っておりますことに、深く感謝申し上げます。同窓会活動を通じて卒業生の皆様・大学・地域社会に貢献できるよう今後とも努力してまいります。

■ st-kai@hoku-iryu-u.ac.jp

北海道医療大学同窓会支部連絡先

■薬学部

支部名	支部長(期)	連絡先
札幌支部	多田 正人(4)	☎011-812-2311
道北支部	沼野 達行(10)	☎0166-32-8181
十勝支部	石原 敦(3)	☎0155-28-3344
道南支部	吉田 元(12)	☎0138-27-7727
釧根支部	羽田野 貴志(11)	☎0154-32-1337
オホーツク支部	新井 俊(10)	☎0157-31-3310
日胆支部	山田 達生(2)	☎0142-76-5258
青森支部	三上 章(1)	☎017-729-0330
栃木支部	橋本 秀雄(3)	☎0285-54-5080
茨城支部	西野 郁郎(1)	☎0293-42-0239
北越支部	本間 信哉(3)	☎0254-26-7676
神奈川支部	川田 哲(3)	☎045-742-2301
東海支部	高尾 信彦(2)	☎053-451-0821
関西支部	山口 和俊(9)	☎0721-28-6261
中四国支部	勝原 聡(3)	☎082-291-2104
九州支部	山田 昌人(3)	☎0965-52-5750
沖縄支部	村田 成夫(4)	☎098-956-1093

■歯学部

支部名	支部長(期)	連絡先
北海道支部連合会	佐藤 明理(4)	医療法人社団明雄会そのま歯科 ☎011-387-8811
青森支部	佐藤 孝治(2)	佐藤歯科医院 ☎0172-36-0412
秋田支部	竹内 亨(7)	竹内歯科医院 ☎0182-22-2001
岩手支部	高野 玄(18)	高野歯科クリニック ☎0197-23-2488
宮城支部	佐々木 隆二(6)	ささき歯科 ☎022-383-8849
山形支部	芳賀 俊和(5)	芳賀歯科医院 ☎0238-84-8107
福島支部	外島 昭夫(7)	ホワイト歯科医院 ☎024-875-3232
茨城支部	秦 博文(2)	社会医療法人愛宣会ひたち医療センター歯科 ☎0294-37-0713
栃木支部	斎藤 真一(3)	斎藤歯科クリニック ☎0285-27-1234
群馬支部	斎崎 広治(1)	しのざき歯科医院 ☎0276-48-0118
埼玉支部	堅木 浩樹(5)	ヒロデンタルクリニック ☎049-232-4432
千葉支部	寺山 功(4)	葉山歯科医院 ☎0471-64-6480
東京都支部	蛸名 勝之(5)	エビナ歯科医院 ☎03-3200-4818

■看護福祉学部

☎0133-23-1211

- 看護学科(内線3641)担当:明野(実践基礎看護学講座)
- 臨床福祉学科(内線3708)担当:池森(医療福祉臨床学講座)

支部名	支部長(期)	連絡先
神奈川支部	阿部 智彦(2)	阿部歯科医院 ☎045-953-7676
山梨支部	白壁 正光(8)	しらかべ歯科医院 ☎0555-72-4182
長野支部	小池 文一(2)	小池歯科医院 ☎026-224-1482
新潟支部	山下 克弥(9)	わかば歯科医院 ☎0258-83-1010
富山支部	藤川 晃(5)	藤川歯科医院 ☎0764-83-2231
石川支部	久保 伸一郎(2)	粟津歯科医院 ☎0761-44-4852
愛知支部	木村 英雄(1)	こめの歯科医院 ☎052-451-1182
京都支部	橋本 昌美(6)	こがはしもと歯科医院 ☎075-935-8148
大阪支部	西 一幸(1)	西歯科医院 ☎06-6793-7500
広島支部	早志 卓展(6)	たかひろデンタルクリニック ☎082-422-9600
四国支部	谷本 良司(3)	医療法人谷本歯科医院 ☎0883-42-2069
九州支部	清川 宗克(3)	清川歯科・口腔外科クリニック ☎092-822-8805
沖縄支部	玉城 均(1)	ながた歯科医院 ☎098-854-1182

■心理科学部

☎011-778-8931 (学務部 心理科学課)

- 臨床心理学科
- 言語聴覚療法学科



歯科衛生士専門学校
同窓会会長
梶 美奈子

歯学部附属歯科衛生士専門学校

(創立年:1991年 正会員数:約1,171名、準会員:38名)

本会の目的は、1.本校で学んだ高い理念と教養を保つ。2.自主協働の精神に基づき広く社会に貢献する。3.本校の発展に寄与し、併せて学術研究の向上に努める。と会則に記載されています。1991年の発足以降、前述の目的に沿って、あるいは、目的自体を目標にして運営を行ってまいりました。会員数が1,000名を超え沢山の卒業生が臨床、教育、公的機関などあらゆる場で活躍しております。沢山の同窓生と学会や講習会で会合して皆様が高い意識を持って日々患者さんやクライアントに接していることがわかります。また、国内外の学会等で表彰を受けている同窓生の噂もちらほらと耳にします。同じ歯科衛生士としてそして同窓生として大変嬉しく思います。同窓生たちは、本校で学んだという基盤を武器に各部門で活躍されているのだと思います。

そんな同窓生たちに恥じぬように、同窓会はしっかりと歩みを進め学校と連携して新入生オリエンテーションへの協力や在校生に何が必要かなど、情報交換を行って支援をさせて

いただいております。同窓会の行事は様々ですが、年に2回講演会を行っております。一つは、同窓会独自で行うセミナーで毎年役員が講師の選択に頭を悩ませておりますが、テレビでもおなじみの先生にご依頼するなど趣向を凝らし、在校生を始め一般の方々まで多くの方にご参加いただいております。もう一つは、他の学部と一緒に連携してコラボ講演会を行い、口腔から全身の健康、食生活などについて学びます。

同窓会のあり方として、会員のみならず在校生もサポートしていかなくてはなりません。会自体が学校と連携しともに成長して行くことで会員、在校生にとって意味のある会となるように努力してまいります。

■ http://www.hoku-iryu-u.ac.jp/~katatakuri/
■ okahashi@hoku-iryu-u.ac.jp

歯学部附属歯科衛生士専門学校同窓会支部連絡先

北海道医療大学歯学部附属歯科衛生士専門学校 ☎0133-23-1211(内線3482)担当:大山・岡橋

卒業生を対象とした各セミナー・
公開講座に関するお問い合わせ先

学術交流推進部
地域連携課

☎0133-23-1129(直通) e-mail:nice@hoku-iryu-u.ac.jp